

10月26～27日 宮之浦岳（屋久島）

山下 隆

山名	宮之浦岳（屋久島）	山行名	屋久島・九州南部
ルート	淀川登山口 → 淀川小屋 → 花の江河 → 投石平 → （宮之浦岳） → 淀川登山口		
山行日	2021.10.26～27(火、水)	天候	両日とも快晴
	リーダー：山下 隆 サブリーダー：全員 男性：竹原順治 女性：上田、大林、竹原絹栄、和田 合計：6名		

ルート概略図 宮之浦岳 1936m ↓ N 栗生岳 1887m ↑ ↓ 安房岳 1847m ↓ 投げ石平 1830m ↓ 花の江河 小花の江河 ↓ 淀川避難小屋 1400m ↓ 淀川登山口 1300m ↓ 登山口—5.7km→投げ石平—2.5km—宮之浦岳	コースタイム			
	地名	時：分	地名	時：分
	10/26 伊丹空港	発 11:40	小花の江河	着 7:25
			花の江河	着 7:40
	屋久島空港	着 13:20	投げ石平	着 8:50
		発 14:00		発 9:25
	淀川登山口	着 15:25	花の江河 (昼食)	着 10:40
		発 15:35		発 11:30
	10/26 淀川小屋	着 16:50	淀川小屋	着 13:20
	10/27	発 5:05		発 13:50
展望場（朝食）	着 7:00	淀川登山口	着 15:00	
	発 7:15		発	

伊丹空港から一日一便の直行便（プロペラ機、48名乗り）で屋久島空港へ向かう。屋久島空港で依頼していたタクシーはお互い勘違いで約束時間に来なく、しばらく待つ。下山後の宿泊予定の宿に一部荷物を預け、1300mにある淀川登山口に向かう。途中から眺める山はいずれも烏帽子型でいかにも険しい。登山口から避難小屋までは地図上ではフラットで50分だが、小さなアップダウンや大きな木の根っ子が続き実に歩きにくい。標準時間の1.5倍の時間がかかり、避難小屋に着く。小屋は60人収容だが、我らの他に2人いるだけでホットする。早速シュラフをひろげ、食事の用意、ネズミ対策。又明日の朝は暗闇の5:00発予定なので、登山道の偵察をする。小屋は標高1400mで深夜には数度まで下がり、ホカロンで温めるも寒くて熟睡は無理。足を温めるソックスがあればと反省する。下界でいつも暖かい布団に寝ていることの幸せを感じる。

翌朝、暗闇の登山道を約1時間登ると、闇が少し明るくなり、杉などの大木に囲まれた登山道を登っていることがはっきりしてくる。いかにも森の精が住んでいるらしい屋久島の森林を肌で感じる。一人で歩くと怖いが、皆で歩くから楽しい。突然鹿の鳴き声がそばです。

花の江河の湿地帯を経て、ロープ場や水場を過ぎ、絶景が広がる投げ石平に8:50に到着する。淀川小屋から4時間弱。宮之浦岳頂上まで残り2.5km。頂上を目指すには、平均年齢74才の我らでは時間的にも体力的にも無理と判断し、ここで引き返すことにした。投石平の雄大な景色を堪能し、気持ちも新たに引き返す。花の江河の湿原でゆるりとした時間を楽しむ。遠慮がちに小鹿も食事に現れる。他に誰もいなく、われらの貸し切りだ。約2hr歩いて淀川小屋に戻り、デポしていたシュラフ等を引き上げ淀川登山口に15時に着く。歩き始めて所要時間は10hr（休憩は計2hr）。登山途中では携帯電話がたまに通じることが出来、白谷雲水峡から縦走してくる藤村さん達と宮之浦岳頂上で会う計画だったが、当方の予定変更を伝えることが出来て安堵した。黒味岳分岐点では携帯が通じるポイントでした。 ヒヤリハット ナシ。



屋久島奇岩奇石



屋久島登山道



屋久島投げ石平